

コロナに感染して

令和4年6月1日
会長 清原久和

コロナ感染症患者は全国で1日約3万人位まで減少してきましたが下げ止まりの傾向であり、会員の先生方もまだまだ診療に御多忙のことと存じます。感染制御と社会生活の回復とのはざまに今後まだまだ悩ましい日々が続くと思われまます。

私事ではありますが最近コロナに感染いたしました。鼻水と軽い咳のみの症状で念のため受けた検査が陽性と判定されました。発熱、倦怠感もなく感染した原因も全く心当たりがなく、前日まで仕事をしていました。私自身高齢者であり地域の保健所の指示で入院して隔離期間を過ごしました。入院後2日目から症状もなくなりましたが、病室の扉には「外には出れません」の表示があり、防護服を着た看護師が1日1回入室、問診と血圧測定、3回運ばれる食事のプラスチック容器を、食後その都度ビニール袋に入れてくくりごみ箱にいれる、食事量と体温、酸素飽和度をラインにてナースステーションに報告する、ことの繰り返しで毎日を過ごしました。おかげでほとんど動くこともなく足が萎えてしまいました。

オミクロン株の症状は年齢が低いほど無症状の頻度が多いようですが、高齢者では鼻汁、咳、咽頭痛が約7、8割と多いものの発熱は約5割で少ないという報告もあり、これは軽い風邪症状、花粉症症状と変わりません。実は周りを見渡すと、検査を受けていない人でコロナに感染して軽い症状がありそのうち治癒している人がかなりいるのではないかと推察しております。幸い私の濃厚接触者に該当するのは家内だけでしたが、家内も感染しておらず安堵しました。

前置きはさておき昨年の秋から続いた行事について遅ればせながら簡単にご報告いたします。

2020.9.16 当会が当番医会で全国医会代表者会議をWEBで開催しました。内科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科を始め11の医会の代表者が参加し、コロナ禍の診療、オンライン診療、リフィル処方、医業類似行為の問題点、子ども庁の創設などについて話し合いました。日本医師会羽鳥裕常任理事、日本医師会推薦の自見はなこ参議院議員にもご参加いただきコメントを頂きました。

2021.11.14には第17回臨床検討会を当会の専務理事岩佐 厚会長のもとWEBで開催いたしました。テーマは「泌尿器科での在宅医療」で大阪府医師会理事の前川たかし先生の基調講演の後、在宅についての一般演題の発表、当会理事で日大板橋病院院長の高橋 悟先生の教育

講演がありました。岩佐会長より在宅診療をしている泌尿器科医はコロナ禍でも収入に影響はなかったとの報告がされました。

2021年12月第2週の日本泌尿器科学会総会時には当会役員が多数、保険診療関連、オフィスウロロジー関連シンポジウムや日本泌尿器科学会との合同講演会の座長、シンポジストとして参加しました。

年末までに会長、副会長、専務理事、常務理事による総務会を数回、常任理事会、理事会を数回開催しました。

2022.2.1 約1年かけて準備をした当会の一般社団法人化が、事務局のご努力で実現しました。ホームページに正井副会長が一般社団法人化について報告されています。

2022.4.24 当会の総会で新役員人事が承認されました。

常務理事として北海道の松村欣也先生、山形の久保田洋子先生、埼玉の矢内原仁先生が承認されました。新理事として宮城の斎藤敏典先生、愛知の服部良平先生、岡山の横山光彦先生が承認されました。

汗をかくというニュアンスを込めて各委員会を作業部会として、ホームページで役員名簿の次に報告しました。

保険部会は永年社保国保の審査委員キャリアのある、東京の富士幸蔵先生、相澤卓先生にお願いをしました。相澤先生は以前厚生局指導官をされており指導監査にも精通されています。

オフィスウロロジー部会は大阪の岩佐厚先生にお願いしました。当会の部会長は日本泌尿器科学会オフィスウロロジー部会長も兼任しています。

学術部会は北海道の松村欣也先生、東京の日本大学山口健哉先生にお願いをしました。

広報会報部会は埼玉医大の矢内原 仁先生、同じく埼玉の賀屋仁先生にお願いをしました。会員の先生方へホームページの改革による情報提供をお願いしています。

勤務医部会は山形の久保田洋子先生と大阪の高尾徹也先生にお願いしています。久保田先生は公立病院事業管理者、高尾先生は大阪府立病院機構主病院長の主任部長です。泌尿器科勤務医の働き方改革、泌尿器科、他科との病病、病診連携の諸問題、勤務医の将来展望などについてお願いしています。

医会連携部会は愛知県泌尿器科医会会長の服部良平先生、大阪臨床泌尿器科医会会長の中谷達也先生にお願いをしました。全国の各地域の泌尿器科医会の情報交換、相互援助、新しい地域医会設立の援助などをお願いしています。

それぞれの部会の所掌についてはホームページをご覧ください。それぞれ部会の活動報告は逐一ホームページに掲載して頂く予定であります。

最後になりましたが、日本医師会推薦の参議院議員自見はなこ先生には日ごろから泌尿器科診療の諸問題、泌尿器科学会総会の講演会などで大変お世話になっており当会として大変感謝しております。特に昨年はLH-RHアナログ製剤の欠品問題の政府への陳情でお世話になりました。我々の活動のためにも自見先生が参議院議員に再選されますようできる限りの支援をさせて頂きたいと考えております。会員の先生方も泌尿器科診療のために自見はなこ先生に多大のご支援をお願い致します。